

# OSP TOP NEWS

## BUSINESS INFORMATION

社内情報  
04.vol.62

<http://www.osp.co.jp>



ホット情報公開。  
2次元コード対応ケータイ  
で読み取れます!

### 牛トレーサビラベル

消費者からの信頼を高める事が期待されます!

2004年12月1日から小売店や販売者でも牛の個体識別番号表示の義務化が始まりました。消費者は、個体識別番号より、インターネットを通じて牛の履歴を確認することができます。2次元コードを印刷した牛肉用トレサビPOPラベルで安心・安全をアピールしていかがですか?

消費者に携帯電話で生産履歴の確認をアピールする事で、安心・信頼をアピールできます。



トレサビPOP001



(独)家畜改良センターのHP  
(<http://www.id.nlbc.go.jp/mobile/>)  
ヘジャンプ。10行の個体識別番号を入力すれば、牛の履歴の検索が出来ます。



### 消費者に安心と信頼を提案!

- 1 かんたんアクセス 2次元コードをカメラ付き携帯で読取るので、アドレスを入力する手間が省けますよね!
- 2 安心をアピール 牛の産地やこだわりも消費者にアピール出来ます。消費者は安心出来る方を選びますよね!
- 3 イメージがアップ オリジナルのデザインラベルならブランドイメージも確立でき、信用もアップしますよね!



### 牛肉トレーサビリティ法って?

#### 耳標装着

国内で生まれたすべての牛と輸入牛に、10桁の個体識別番号が印字された耳標が装着されます。



#### 牛のデータベース化

個体識別番号によって、牛の性別・種別(黒毛和種など)に加え、出生からとさつ(解体処理)までの飼養地などがデータベースに記録されます。



#### 番号の表示と記録

とさつされ牛肉になってからは、枝肉、部分肉、精肉と加工され、流通していく過程で、その取引に関わる販売業者などにより、

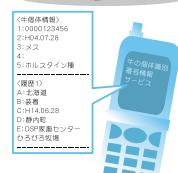
個体識別番号が表示され、仕入れの相手先などが帳簿に記録・保存されます。

#### 追跡・遡求可能

牛の出生から消費者に支給されるまでの間の追跡・遡求、すなわち生産流通履歴情報(牛肉のトレーサビリティ)の把握が可能となります。牛に表示された個体識別番号により、インターネットで牛の生産履歴を調べることができます。



いつ、どこで生まれ、  
育てられ、処理され  
たかがわかるよ。



その他、要望、ご意見等ありましたら  
営業推進部までお問い合わせ願います。  
E-mail:hoshina@osp.co.jp

次号vol.63は新クイックデザインの特集です。2005年1月11日発行

バックナンバーが必要な場合は、担当営業までご連絡下さい。